

当院で治療された患者さんへ

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在、呼吸器外科では、下記の臨床研究を実施しております。

この研究では、患者さんの日常診療で得られたデータ（情報）を利用させていただきます。

ご自身のデータがこの研究に利用されることについて、異議がある場合は、情報の利用や他の研究機関への提供をいつでも停止することができます。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身のデータがこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名

当院における術後補助化学療法としてのアテゾリズマブ使用症例についての検討

●研究の目的

2022年より非小細胞肺癌における術後補助化学療法としてPD-L1陽性患者においてアテゾリズマブの使用が承認されました。実臨床での使用経験の報告は出てきていますが、データとしてはまだ多くありません。当院でもアテゾリズマブを使用しており、これまでのデータを集めて検討、調査することで、今後のがん治療へのより良い治療戦略を確立することを目的としています。

●対象となる患者さん

2018年1月1日から2024年10月31日の間、当院でアテゾリズマブを使用された非小細胞肺癌患者さん。

●研究期間：当院の研究倫理審査委員会承認日から 2026年 3月 31日

●使用させていただく診療データ

- ・患者背景因子(年齢、性別、病歴、既往歴など)
- ・CT所見(病変の大きさ、位置、腫瘍内の所見)
- ・病理所見(腫瘍の病理所見)
- ・化学療法およびアテゾリズマブ使用時の状況(サイクル数、有害事象)
- ・転帰

●個人情報の取り扱いと倫理的事項

研究データから、患者さんを直接特定できる情報(お名前やカルテ番号など)を削除し匿名化しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。

この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり匿名化していますので、患者さんのプライバシーは守られます。

なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を得て、病院長の許可のもと実施しています。

●研究責任者および問い合わせ先(情報管理責任者、当院の連絡窓口)

日本赤十字社和歌山医療センター 呼吸器外科

研究責任者 千葉 直久

住所：和歌山県和歌山市小松原通4丁目20

電話：073-422-4171